

立命館経済学 第51巻総目次 (2002年度)

論 説

OEM化の規定要因：パネルデータによる			
先決性の検定……………	伊藤 研一 道井 明義 井 澤 裕 弘 司	1 … 1 ( 1) — 42 ( 42)	
—産業(業種)別のOEM化のメカニズム—			
MAKING SENSE OF POST-SOVIET			
ECONOMIC SPACE……………	David A. Dyker	1 … 43 ( 43) — 56 ( 56)	
—FREE TRADE AND BEYOND IN THE CIS—			
Identification of Word Boundaries……………	上田 眞 理 砂	1 … 57 ( 57) — 80 ( 80)	
中国における経済発展と社会秩序の変動……………	田 暁 利	1 … 81 ( 81) — 105 (105)	
1950年代中国における「新しい住宅問題」……………	余 勁	1 … 106 (106) — 127 (127)	
国際価格と国際的競争……………	岩 田 勝 雄	2 … 1 (139) — 11 (149)	
ヘーゲル論理学・概念論と「資本」の方法……………	角 田 修 一	2 … 12 (150) — 38 (176)	
ケインズの革新……………	松 川 周 二	2 … 39 (177) — 68 (206)	
投資—貯蓄の不均衡分析と貨幣数量の統合の試み			
経済・経営学部の英語プログラムにおける学習語彙			
リスト……………	PENG, Virginia Mary 清 水 裕 子	2 … 69 (207) — 80 (218)	
20世紀経済学の成果は何か……………	小 檜 山 政 克	3 … 1 (239) — 38 (276)	
—ボーム論文とロシアの経済学者たち—			
Patent pool as a method to avoid “the tragedy of			
anti-commons”……………	大 川 隆 夫	3 … 39 (277) — 45 (283)	
“linked game”による制度の生成・維持：展望……………	野 村 良 一	3 … 46 (284) — 60 (298)	
イギリス労働市場における経済非活動者の動向……………	伊 藤 大 一	3 … 61 (299) — 77 (315)	
労働力需要構造との関連で			
ブラジル農業における接合経済構造とアグロインダ			
ストーリーコンプレックス……………	佐 野 聖 香	3 … 78 (316) — 104 (342)	
外国貿易の原因および国際的分業形成……………	岩 田 勝 雄	4 … 1 (337) — 12 (348)	
ケインズの国際マクロ経済学……………	松 川 周 二	4 … 13 (349) — 37 (373)	
—1920年代から30年代初頭にかけての時期を中心に—			
ヘドニック法による環境質の評価：大気質を中心と			
したサーベイ……………	藤 井 仁	4 … 38 (374) — 54 (390)	
国際投資分析に関する一考察……………	黄 駿	4 … 55 (391) — 65 (401)	

## 研究ノート

- 進化経済学の最先端……………小野 進 2 … 81 (219) — 100 (238)  
 —Fourth International Workshop on Institutional  
 Economics Organised by Geoffrey M. Hodgson に出席して—  
 欧州における産業政策研究のフロンティア……………小野 進 3 … 105 (343) — 129 (367)  
 —The 6th Annual EUNIP (European Network on  
 Industrial Policy) conference, Åbo  
 Akodemi University, Åbo (Turka), Finland, 5-7  
 December 2002 で研究発表して—  
 過疎自治体財政の分析と評価……………桑田 但馬 4 … 66 (402) — 95 (431)  
 —90年代の京都府下「小規模山村」を中心に—

## その他

- 2001年度経済学会会員業績…………… 1 … 135 (135) — 137 (137)

## 学位論文審査報告

- 2001年度修士論文一覧…………… 1 … 128 (128) — 130 (130)  
 陶大寧「中国後進地域の経済開発と地方政府の役割——1990年代におけ  
 る陝西省の事例をふまえて—」…………… 1 … 131 (131) — 134 (134)

## 特別号

- 特別号の刊行にあたって……………角田 修一 特別 1 ( 1)  
 日本経済の変動過程……………高木 彰 特別 3 ( 3) — 15 ( 15)  
 貧困削減再考：開発援助の視点から……………笠井 利之 特別 16 ( 16) — 26 ( 26)  
 グローバリゼーションとは何か……………藤岡 惇 特別 27 ( 27) — 40 ( 40)  
 —アメリカの宇宙・情報戦略との関わりで—  
 消費生活をどのように見るか……………角田 修一 特別 41 ( 41) — 48 ( 48)  
 —「現代消費論」がめざすもの—  
 マクロ経済学の発展……………松川 周二 特別 49 ( 49) — 83 ( 83)  
 日本経済の成長と循環を考えるにあたって……………稲葉 和夫 特別 84 ( 84) — 100 (100)  
 生産上の技術革新と多国籍企業……………田中 祐二 特別 101 (101) — 115 (115)  
 「経済くらべ学」学び始め……………田中 宏 特別 116 (116) — 126 (126)  
 —比較経済体制論とは何か—  
 介護保険制度下のホームヘルプサービス事業……………佐藤 卓利 特別 127 (127) — 142 (142)  
 日本の高度経済成長期に実施された  
 工業都市における大気汚染対策……………藤倉 良 特別 143 (143) — 152 (152)  
 社会経済学の視点……………松井 暁 特別 153 (153) — 164 (164)  
 費用便益分析と環境の価値……………寺脇 拓 特別 165 (165) — 184 (184)